

令和4年度 第3回 可美中学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和4年12月13日(火)13時30分から16時00分まで
- 2 場 所 可美中学校 パソコン室
- 3 出席委員 小野田和弘 鵜飼愛子 岡本眞理 金原元康 中村裕康 中村淳子
(敬称略) 小野田康弘 和田剛 オンライン参加: 牧野源太郎 辻村久美香
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 北村健治(校長) 古川里江(教頭) 中村里恵(教務)
山田真史 與五沢智宏(CS担当教員) 中川将大(生徒指導主事)
- 6 教育委員会 鈴木陽子(教育総務課)
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 施設見学・授業参観
 - (2) 議長の選出について
 - (3) 全国学力調査の結果について
 - (4) 校内適応指導教室について
 - (5) 青少年育成指導員選出について
 - (6) 新制服の決定と靴・靴下の変更点について
 - (7) 令和4年度「やらまいか講演会」について
講師: 池野文昭さん 期日: 令和5年2月8日(水)10:40~11:40
 - (8) 令和4年度受検前面接練習について
 - (9) 学校運営協議会自己評価の実施と結果等の報告について
 - (10) 学校の取組に対する評価について
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 松田友紀
- 10 会議記録

司会の山田から、委員総数の10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 施設見学・授業参観
- (2) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、多くの委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

- (3) 全国学調について(施設見学・授業参観の感想も含めて)

4月に実施した結果を基に、可美中の生徒のよい点と課題について伝えた。

- ・ICT(タブレット)を活用している場面を実際に見て、大変そうだけど楽しそうと感じた。廊下の掲示物の中に、「職業紹介」の掲示があった。職場体験がなかなかできない中だが、前向きに調べていて感心した。(岡本委員)
- ・「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがあると思う」という項目で数値が高いのはよいこと。日本人は自己肯定感が低い傾向にあるので、今後も維持していけるとよい。(裕康委員)
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の「思わない」傾向の数値が少し高めだが、理由はどこにありそうか。いじめがないのか、生徒が意識していな

- いのか。見極めた方がよい。小さなことからきちんと指導した方がよい。(康弘委員)
- ・当事者意識が低いかもしれない。からかひやいざこざなどが良くないことであるという指導が必要であると感じた。今後、可美中の『いじめ防止等の基本方針』を見直したものをHPに掲載予定。(校長)
- ・以前、健全育成会の講演会で、自尊感情を下げさせないためにはあいさつが効果的であるという話を聞いた。いじめ防止にもなる。(牧野委員)
- ・可美中生は自らあいさつしてくれる印象。学校自体が良い雰囲気づくりになっている。(辻村委員)

(4) 校内適応指導教室について

現在、発達支援教室として『はばたきルーム』があるが、3学期から校内適応指導教室としていく予定。

- ・学校に戻る第一歩となるので、1人でも多く学校に戻れるよう、効率よくやってほしい。校内指導員が2人つく予定。10名以上の不登校生徒がいることと空き教室があるのが条件。この後拡大していく予定。(康弘委員)
- ・現在は指導員1人で、9:00~13:00の勤務。午後は教員がついている。(教頭)
- ・予算を増やし、指導員を1人から2人に。若い先生ができるわけではないので、ベテランが入るようになるのではないか。(康弘委員)
- ・今、可美中の不登校生徒はどのくらいか。(鶴飼委員)
- ・1年11人、2年5人、3年9人、ひまわり6人となっている。
このうち1名以外は放課後登校、週1登校、校外適応指導教室やはばたきルームを使うなどしている。復帰した生徒も5~6人いる。校内適応指導教室はステップ教室として使えるということを三者面談などで保護者や本人に伝えていく。(校長)
- ・文化発表会の時に自分の子供が不登校の友達と会った。その子は学校に行きたいという話をしていた。不登校の後輩のところにも一度話をしに行ったら喜んでくれた。友達の支援というものがいいと思った。『はばたきルーム』が子供の力も借りながら運営できたらとてもいい。(牧野委員)
- ・いいことだと思う。ただ、来る子は一人一人違う。実際に来た時、勉強方法や対人関係などどのようにやっていくかは疑問に思う。(辻村委員)

(5) 青少年育成指導員の選出について

中学校が事務局になっている。最大5名まで推薦ができる。年度末には推薦しないといけない。

- ・執行部としては平日に参加というのは厳しい。(牧野委員)
- ・執行部の中から出なくても、どなたでもいいが…。(教頭)
- ・可美小とも校長同士で話は済んでいて、PTAの方をお願いできるならありがたい。(校長)
- ・前教頭先生から話は受けていて、一般の方からすると、任期2年は厳しい。執行部は色々な仕事があるから、本当はPTAとしては厳しい。(和田委員)
- ・和田さんの話そのものが執行部の意見ではあるが、全員で一度話をしたい。(牧野委員)
- ・年度末までに決まらなかったら？(和弘委員)
- ・昨年度は断ったら3名のまま。(和田委員)
- ・今やっている方はどのように決まった？(和弘委員)

- ・スズキと浜信、企業のつながりでやってきた。(校長)
- ・なぜこの2つ?(和弘委員)
- ・学校によってPTAが決めているところと自治会で決めているところがある。枠で動けないか一度聞いてみる。(校長)
- ・健全育成会から人を集めることはできないか?PTAだと2年生の保護者からしか頼めない。(康弘委員)
- ・任期が1年なら可能かもしれないが…。(和田委員)
- ・任期が1年でもいいのか校長先生から聞いてもらえれば…。(和弘委員)

(6) 新制服の決定と靴・靴下の変更点について来年度に向けて

ブレザータイプの制服を選択肢の一つとして導入することになり、新1年生の子の多くがブレザータイプの制服に関心を持っている。来年度は混在する予定。靴・靴下も選択肢を増やし、3学期から試行予定。新しいことを導入するにあたって、子供たちのどういうあらわれが見られるか分からない。

- ・新1年生でほとんどの子がブレザーだとしたら、セーラー服や学生服の生徒は肩身が狭いかも。事前に情報をキャッチして対応を。(和弘委員)
- ・9割がブレザーで1割がお下がりだと予想される。(校長)
- ・自分の子供はお下がりではなく、ブレザー購入。(牧野委員)
- ・靴・靴下の試行については、次の運営協議会で報告する予定。(中川)

(7) 令和4年度「やらまいか講演会」について

- ・10月末に池野さんに実際にお会いした。可美の誇れる人材。大変聞き上手な方で、中学生に合う話をしたいとおっしゃっていた。時期が近づいたら、コラムなど活用して雰囲気づくりをしたい。(校長)
- ・大変な努力家。(康弘委員)

(8) 令和4年度受検前面接練習について

毎年、面接官の方は、どんな子も褒めてくれるため、自信を持って当日にのぞめる。ありがたい。

- ・年度当初に連絡済みなので、電話はしない予定。(岡本委員)
- ・新しく3名入ってくださっている。3年前は第3回運営協議会に参加したが、今はどうなっているか。(和弘委員)
- ・最近は当日、少し前に来てもらっている。新しい人には分かりにくいかもしれないので電話しておくようにする。(與五沢)

(9) 学校運営協議会自己評価の実施と結果等の報告について

- ・可美地区は意見がつながっているのがすばらしい。対話—信頼—納得話し合われて実現したことの効果が語られた。評価—伝承—改善
学校関係者評価 分析・考察→改善案をみんなで練る(教育委員会鈴木先生)

(10) 学校の取組に対する評価について

学校の取組に対するアンケートの協力をお願いした。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年2月14日(火)午後1時30分から開催する旨の報告があった。